

7 衛生指導により改善した離乳豚の豚増殖性腸

炎：長野県飯田家保 佐野夏葉

母豚 360 頭規模の一貫経営農場で、平成 28 年 5 月上旬から離乳豚の下痢症が増加。当初下痢症対策として生菌剤の飼料添加、豚房の清掃・逆性石けん液による消毒、母豚の豚体消毒及び離乳豚へのローソニアワクチンの投与を実施していたが、発症頭数は減少せず。病性鑑定を実施したところ、病理組織検査で腺腫様過形成及び陰窩上皮細胞内に湾曲した菌体を確認、糞便のローソニア遺伝子検査（PCR）陽性。豚増殖性腸炎と診断。ステージ毎の抗体検査及び PCR を実施、離乳豚舎で感染し慢性経過で発症したと推定。農協及び担当獣医師と連携し対策を検討・指導。ローソニアに有効な抗生剤の限定的使用、ワクチン接種方法の改善、さらに石灰乳塗布機の導入によりアウト後の石灰消毒を実施。以降症状が改善。PCR でも陽性率低下、対策の有効性を確認。当該農場ではここ数年衛生対策の見直しが行われていなかったが、今回の発生を契機に衛生対策の向上を図る方針。